

2013年4月発行  
第30号 / 2号

ナルコティクスアノニマス 60周年を祝う  
1953年～2013年





## 世界中で読まれている NAの 定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ペルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在 NA で問題となっていることや世界中の NA メンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』という NA の回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA World Services, Inc.  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA  
Telephone: (818) 773-9999  
Fax: (818) 700-0700  
Website: [www.na.org](http://www.na.org)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NA のさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NA メンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここには NA 全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットから NA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、[naway@na.org](mailto:naway@na.org) に eメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

# 編集者から、ひとこと

わたしはこのまえ、便利でよさそうなアプリをダウンロードした。でも、いき開いてみるとたいしたことはなく、ほとんど役に立たない機能ばかり。それで結局、削除した。そんなことがあって、わたしは「ほしいものは取っておき、それ以外は放っておく」ということを考えた。回復の道を歩みだしたころのわたしは、やりたくなかったり実行できそうになかったりすることがあっても、この言葉のおかげで「まあ、いいか」と思えたのだ。それで、あとになって考え直し、これもプログラムだからやってみようという気になった。つまり、最初は NA プログラムのなかに苦手なことがあっても、その時々でわずかなりとも生かそうとしていくうちに、以前には苦手だったことがだんだんと生かせるようになっていくことに気づくのだ。こういうことは、みなさんにも覚えがあるだろう。幸いにも、わたしがここまで回復の道を歩んでくるなかで、早まってであれ偶然であれ「NA アプリ」を削除するということはあるえなかった。そのおかげで、どんなときにもわたしが本当に必要とするアプリはこれしかないわかったのだ。

今月号の NA Way マガジンでは「インターネットを利用する回復」について特集を組み、NA のウェブサイトや携帯サイト、電子書籍化された NA の文献 (『ベーシックテキスト』、『なぜ、どのように効果があるのか』、『スポンサーシップ』) など、以前に取りあげたものも含めて紹介している。また、キューバで再び歩み出した NA とハイチで一歩を踏みだした NA に関する記事やわかちあいには、インターネットでつながることによって私たちが一緒に歩みを進めていくことができる喜びがあふれている。それは、キューバのメンバーたちから Eメールで届いた驚くべき個人の物語によってもわかるだろう。そして、単なるプロジェクト最新情報であってもインターネットは重宝している。意見提供を求めてひとりでも多くのメンバーに伝えることによって、NA のメッセージはそれだけ運びやすくなるからだ。この NA Way マガジンにしても、インターネット版なら、紙版には載っていない内容やインターネット上のミニコミ (ホームページ) に関する特集記事などが読めるようになっていく。そして、さらに多くの仲間たちも楽しめるように、インターネット版にある記事を自分たちの NA で転送していただけるとありがたい。そうすれば、それを受け取った仲間たちも NA のメッセージを運びやすくなるだろう。もちろん、インターネットでね!

ド・J (エディター)

Electronic subscribers can click here for exclusive NA history content.

## 今月号の掲載記事

<b>特集記事</b>	3	<b>インターネットを利用した回復</b>	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>キューバの NA に、チャンス到来!</li> <li>役に立てるのだから、恐れてはほられない</li> <li>NA で回復の道を歩いていく</li> <li>NA をつむむ愛</li> </ul>		<b>プロジェクト最新情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスシステム</li> <li>ウェビナー (インターネットでのセミナー)</li> <li>『伝統』に関する書籍</li> <li>IP 『イントロデュース・トゥ・NA ミーティング』</li> </ul>	10
<b>分かち合い</b>	5	<b>WCNA 35 参加登録</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>アディクションの波にさらわれて</li> <li>言葉にしなくても伝わること</li> <li>アディクトに共通する福利</li> <li>NA の復活</li> </ul>		<b>ユニティデイ 参加申し込み</b>	12
		<b>『リビングクリーン』</b>	
		<b>ザ・ジャーニー・コンティニューズ</b>	13
		<b>カレンダー</b>	14
		<b>Product Update</b>	15
		<b>Coming Soon</b>	16

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからのご便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NA という集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250 字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。ご便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



# ◆ ◆ ◆ ◆ 特集

## キューバの NA に、 チャンス到来！

キューバの NA は、1999 年の 1 月に誕生したことが知られてから 2004 年までは活動していた。私たちのところには長い間キューバの NA に関する情報が届いていなかったが、2009 年になって活発な動きがあったことを耳にしたので、2010 年の中ごろになんとか連絡を取ってみようとした。そして、カナダ、エクアドル、パナマ、プエルトリコ、アメリカ合衆国、ベネズエラなどの NA からメンバーたちがキューバを訪れている間に、このカリブ海の島にある NA の仲間たちに接触したことで、私たちのところにキューバの NA から協力の依頼が届くようになったのだ。そしてキューバのことが伝わってくるとすぐ、ラテンアメリカゾーナルフォーラム (LAZF) は NA ワールドサービス (NAWS) とともに、NA キューバのために一連のフェローシップディベロップメント支援イベントを開催していくことにした。そして 2011 年 5 月には、キューバのシエンフエゴス市 (キューバ中南部の湾岸都市) にあるアグア・デ・バサヘロスという町で、1 回目のイベントが開かれた。2011 年 11 月にはハバナで 2 回目のイベントが開催され、2012 年 9 月にもハバナで 3 回目のイベントが開催された。このために、私たちは繰り返しキューバを訪れたのだ。

この 3 回にわたるイベントでは、NA に関する説明会を兼ねてさまざまなワークショップを開き、12 のステップ、12 の伝統、12 の概念のほか、グループによる活動、サービスシステム、広報活動、病院施設活動、プランニング、そして LAZF と NAWS によるいくつかのプロジェクトの活動内容など、さまざまなテーマで話を進めていった。また、このイベントには毎回、チリ、パナマ、プエルトリコ、アメリカのフロリダなどの NA からメンバー数名の参加と資金の提供があった。そして、それぞれのリージョンと LAZF と NAWS から、信頼されるしもべたち、資金、NA 文献が提供された。こうしたことは、キューバを行き来する私たちにとっても心の支えとなった。

NA キューバが何年にもわたる休止状態から活動を再開したときには、メンバーと言えるようなメンバーは 10 ~ 15 人しかおらず、グループが 2 つでミーティングを週に 4 回開くのがやっとだった。それが今では、メンバー数も 100 人を超え、グループは 7 つになり、ミーティングは週に 14 回開かれている。そしてサービスの委員会が 1 つ誕生したことにより、グループへのサービス提供をはじめ、広報活動や病院施設活動、さまざまなワークショップやイベント、アウトリーチの取り組みなどが進められている。ここにいたるまで見返りを求めずにキューバの NA と共同作業をしてくれたみなさん、本当にどうもありがとう。私たちが心をひとつにして一緒にやれば国境など存在せず、今苦しんでいるアディクトに NA のメッセージを運ぶことができるのだ。

マウロ・G (ベネズエラ/カラカス)

2012 年キューバプロジェクト  
ラテンアメリカゾーナルフォーラム  
「心をひとつにすれば、世界はひとつ」



## 役に立てるのだから、 恐れてはいられない

やあ、みんな、俺はフリオ。回復の道を歩むアディクトだ。俺は同じ地域のNAの仲間3人と一緒に、キューバのNA再生にかかわる機会に恵まれた。キューバのNAは、6年のあいだずっと活動を休止していたんだ。理由はいろいろあるが、キューバの国家体制に関することでNAに問題があったわけじゃない。そして今、俺たちはNAの活動を再開しつつある。これは、俺の人生で最大の出来事だ。なにしろ、キューバでもう一度NAグループを始めようすれば、どんな危険な目にあうかわからない。それがわかっているけど、ひとりのアディクトにもうひとりのアディクトが手をさしのべる必要があるし、それ以上に重要なことなどありはしないと、俺は本気で思うようになったんだからな。

お袋と腰をすえて話をした夜のことは、今でも覚えている。俺がこれから足を突っ込むようにしていることについて話すと、お袋は黙っていた。俺はききんと耳を傾けたが、やめろと言われたも自然だった。それでも、俺は使って生きるくらいなら刑務所にいた方がましなんだってことだけは、お袋と意見をひとつにすることができた。今回のことで俺が歩み出すことができたのは、ひとえに愛のなせる業だった。だが、実際にどうやってNAグループをやっていけばいいのかとなると、誰にもわからなかった。それまで俺はNAの『ベーシックテキスト』を一度も読んだことがなかった。そんな俺が、グループのセクレタリー。つまり、このホームグループのメンバーは全員、俺と似たり寄ったりだったんだ。みんな、お互いだけが頼りだった。グループを始めると、1人目の新しい仲間を迎えた。この仲間は、キューバのNAを支援するために第3回ラテンアメリカゾーンフォーラム(LAZF)が開催された際に、俺と一緒にサービスに関わった仲間だった。こうして、俺たちがクリーンしているために危ない橋を渡ろうとしてから、すでに3年が過ぎた。今ではグループが6つ、ミーティングは週に10回、メンバー数は60人になり、サービス委員会が1つ誕生した。キューバのNAでは、どのミーティングにもつねに新しい仲間が繋がっているというわけだ。

実際に、キューバのNAは成長し始めている。というのも、俺はこの間行われたLAZFのイベントに出席していたときに会場を見て回っていて、キューバのNAが再開したばかりのころにつながった仲間たちに会ったんだ。みんな、まったく先が見えないながらも人生最高の日々をともに生き抜いた同志だった。その歩みが今、1年、2年、3年のクリーンタイムとなっている者もいたし、90日、60日、30日のクリーンタイムとなっている者も何人かいた。俺はクスリを使うだけしか能がなかったのに、こんなに恵まれた生き方ができるなんて、人生はわからないもんだと思う。

これまで俺のハイパーパワーは本当によく使われた。NAに導かれて以来、俺はひとりじゃなかったからだ。こうして書いていても泣けてくる。俺は今、4人のイカれた連中がつかって夢見たことを目の当たりにしている。キューバでNAのミーティングを再開すること、それが本当に実

現したんだ。こうなったら、あともう1つの夢も実現させたい。NAキューババージョンがワールドサービスカンファレンスに出席すること。それも、キューバのNAに代表として出席できるようなメンバーがいれば必ず実現することなんだ。

もし、自分のいるNAがまだ小さくて、俺たちがキューバで経験しているような問題に直面していたり、あるいはNAといってもメンバーが2人しかいなかったりしても、心配することはない。わずかながらでも今いるメンバーたちを大事にして、新しくつながったばかりの仲間たちに心をくだいていけば、恐れることなど何もない。俺たちの理解する神は、いつだってそばにいて俺たちを導いてくれるからだ。NAがあつて本当によかった！

フリオ \* (キューバ/ハバナ)

## 回復の道を 歩いていく

みなさん、こんにちは。ぼくはアディクトのフェリペ。NAのメンバーになって回復の道を歩んでいる。ぼくは自分から進んで精神病院に入院したんだ。そして入院中に、セラピストからNAのメッセージを紹介された。あのときはすごくムカついて、敗北感に打ちのめされた。当時のぼくは、身体も心もぼろぼろで頭もイカれて魂のぬけがらのようだった。そんな状態では、自分なんか絶対に回復するわけがないと思うようになっていた。悪寒がして身体の震えが止まらなかったし、たえず頭に浮かんでくるのは自己破壊的なことばかり。クスリのこと、反社会的なこと、死ぬこととかね。ぼくはクスリに溺れたうえに、クスリの代わりになるならアルコールだろうと何だろうと手当たり次第使いまくったせいで、本当にヤバイ状態になっていた。食事もせず、健康をかえりみることもなかった。入院していた精神病院では神経障害と診断された。神経障害は、中枢神経をやられて身体からビタミンやエネルギーがすっかり失われてしまう病気だが、それ以外にもいろんな病気をかかえてると言われた。

あの頃のぼくは、強迫観念にとりつかれて不安でたまらなかったし、孤独感や空虚感をかかえて生きるのがイヤになっていた。こうして書いてみると、今でも叫びたくなるし涙があふれてくる。だって、あんな状態で使うのをやめ、使いたいという気持ちもなくなり、新しい生き方ができるようになるなんて、考えられなかったから。そんなぼくも、こうして31才になり、NAでクリーンになって1年がたつ。今は幸せだよ！ いろんなことができるようになったし、回復も進んでいる。成長もして、スピリチュアルな生き方ができるようにもなっ

た。何もかもが信じられないことばかりだよ。

キューバのNAで共に回復の道を歩む仲間たちとわかちあうときには、いつも愛に包まれている。いちばん大事なのは、これからも内面を探り、自分のことをよく知ろうとし、2度と同じような生き方をしないために過去から学んでいくことだ。そうすれば、ぼくはクスリから自由でいられるし、NAで回復の道を歩んでいくことができる。キューバのNAの仲間たちと、ラテンアメリカゾーンフォーラムやNAワールドサービスのみなさんには、手をさしのべて支えになってくれたことに心から感謝している。これからも、さらなる気づきがあるだろう！

フェリペ \* (キューバ/ハバナ)

## NAをつつむ愛

あたしはNAにつながってはじめて、これほどの愛に満ちた世界があるんだと知った。たぶん、NAにつながるまでのあたしには、愛がどういふものかまったくわかっていなかったのよね。この前、キューバでラテンアメリカゾーンフォーラム(LAZF)が開催されているときに、あたしたちはビデオをつくったんだけど、そのビデオが2012年のワールドカンファレンスで上映されたんですって。キューバでもみんなで何度か観たし、あたしはすごく胸が熱くなった。でも、ビデオができあがったときには、まさかそんなに遠くまで旅をするなんて思いもしなかったわ。そして、2011年の11月に2回目のLAZFがキューバで開かれ、ついでこの間の2012年9月には3回目のLAZFが開かれた。それもキューバのNAを応援するためよ。このイベントは毎回、大成功に終わったわ。キューバのNAには今、グループが6つあって、ミーティングは毎週10回開かれ、メンバーの数も60人を超えている。サービスの委員会が1つ誕生して、広報活動や病院施設へのサービス活動を行っているわ。それもこれも、みなさんがあったけの愛を示してくれたおかげ。本当にありがとう！ 使わない人生をみなさんと一緒に歩いていけるように、これからも会えることを願っているわ。

愛を込めて。

ヤネラ \* (キューバ/ハバナ)

\* ここに記載した名前は、本人の身の安全を確保するために仮名にしてあります。





# アディクションの波に さらわれて

わたしは海の波が怖い。人生は海のようなものだし、アディクションは荒れ狂う暴風雨のようなものだから。直撃されたらひとたまりもなく、大切なものが何もかもメチャクチャにされてしまう。わたしが使っていた最後の日々は、巨大な波が盛りあがって崩れ落ちる寸前のようなだった。上がったものは、いつか必ず下がるというわけよね。わたしは懲役をくらい、3回にわたるリハビリ治療の失敗、子どもたちとの別れ、C型肝炎とどこまでも落ちていった。でも、このアディクションという大波の何が恐ろしいって、わたしは虚ろな空間に押しやられてしまったのだ。アディクトなら誰にでも覚えがあるだろう。あんなところにいたら、人間であろうとする気持ちがなくなる。わたしは孤立したまま、死に神が来て地獄に送られるのを待っているようだった。

2007年の夏。ある朝に、ちょっとした「偶然」が重なった。わたしは見も知らぬカップルの住まいで目が覚めた。2人ともまだ起きてこない。さんざん使ってつぶれてるのか。それじゃ、ここにいるも何も手に入らない。朝の7時にわたしはよろよろと通りまで歩いて行き、タバコをせびる相手を探していた。通りには男が何人か集まっていた。その1人からタバコをもらい、火をつけたところで、わたしは泣き出した。男たちが後ずさっていく。無理もない。わたしは何日も風呂に入ってなかったし、髪の毛もぼさぼさだった。泣きながら朝の太陽の下に立っていたら、汗が流れて頭がクラクラしてきた。

人だかりの中から男の人が現れ、わたしはわっと泣き崩れた。わたしはアディクトで、クスリのために車を売ってしまったし、電話も持っていないと言うと、その男の人はわたしを目の前の赤い建物の中に連れていってくれた。建物に入ると、机の向こうに女の人（のちに、わたしのスポンサーになってくれた人）が座っていた。アディクションという大波にさらわれてたどりついたのは、ホームレスのシェルター（保護施設）だった。わたしが泣きながら胸のうちをぶちまけると、なぜかこの女の人にはわたしに同情を示してくれた。このシェルターの規則にはまったく反していたのに、わたしはここにたどりついてそのまま収容された。（神は、わたしが自分にできないことをしてくださるのだ）

でも、わたしには一日が限界だった。こんなところにも、ミーティングに通えとか、スポンサーを見つけれとか、つまらないことばかりやらされるだけだった。そこで、わたしの片棒をかつぐ名人である母に電話して、車で迎えに来てもらうことにした。これで狂気に逆戻り。心の底ではまだ使いたかったのだ。



その夜の9時ごろ、わたしは母の到着を待っていた。これで救い出してもらえる。わたしはソファの肘掛けのところに腰かけ、ツメを噛みながら時計を眺めていた。時間が止まってしまったようだった。わたしはすっかり物思いにふけていたので、部屋に男の子がいることに気がつかなかった。その子はテレビを観ていた。ここは、女性と子どもを保護するシェルターだったのか。そう気づいたとき、その子が「ねえ、いっしょにこの映画をみようよ」と言った。わたしは「いやよ、もう出てくんだから」とはねつけた。「どうして」と聞くので、わたしは言ってやった。「ここにいる女たちは頭がおかしいのよ。わたしのいるところじゃないわ」。すると、その子はわたしをなだめるように言ったのだ。「シェルターの人たちは、ボクとママのために住むところを探してくれたんだよ。ボクはあと2か月待てばいいんだ。おばちゃんのことだって助けてくれるんじゃないかな」

回復の道を歩んでいると、感情が堰を切ったようにあふれ出すことがある。こうしてあの子のことを書いてると泣けてくるのに、当時のわたしといたら、あの子のことなど相手にしないで玄関に向かっていった。けれども、あの夜、

あの子と出会ったことがわたしの回復の鍵になった。あの子がちよとしたきっかけを与えてくれたのだ。

母は、わたしのことを怒鳴りつけ、リハビリ施設に入れるだのなんだのと脅し文句を並べ立てながら、わたしの衣類が詰まったゴミ袋を車に放り込んだ。わたしは玄関を出ようとして、男の子のことが頭をよぎり、立ち止まった。「あの子は、どうしてこんなところにいるんだろう。イヤじゃないのかしら。わたしも、いてみようかな。子供だってできるんだから、わたしもシェルター

## わたしにとって奇跡を生きるとは、 アディクションの荒波をみごとに乗り切り・・・

の連中に住むところを見つけてもらえばいいのかも」(わたしの決心など、しょせんはその程度のものでした)。わたしは母を家に送り返した。母から、どうかしてるんじゃないのと言われた。本心では、わたしも同感だった。

よく、「とぼと歩く」というけれど、NAにつながったばかりのわたしがまさにそうだった。わたしはとぼとぼとミーティングに通った。自分の話をしようとはしたが、泣いていることのほうが多かった。家に帰らなかったけど、そうしたらどうなることかと恐ろしかった。またもアディクションの荒波にのみ込まれるんじゃないかと怖かった。わたしが「まだ」そこまではいってないと考えていたことは、ほとんどがもう「すでに」そうになっていた。わたしは、自分の常用していたクスリを使ってなかったアディクトたちを見下していた。それが今や、自分もそんな連中のひとりだ。売春婦たちのことも軽蔑していたけれど、わたしだって本命のクスリ手に入れるためなら相手かまわず身を投げ出ししていたわけだから、とっくに同類になっていたのだ。

ひと月が過ぎた。そのころにはステップ1について書き始めていた。そして、それがいったい何を意味するのかわかった日のことを、わたしは絶対に忘れないだろう。あのやりきれない思いときたら、今でも思い出すたびにたまらなくなる。わたしはずっとなすすべもないまま、アディクションの荒波にのって突き進むしかなかった。そうして10年もの間、今度こそはうまくいこうとしようこりもなく同じことを繰り返していたなんて。まったく正気のじゃなかったと気づいたが、それを受け入れるのは辛かった。でも、いったん受け入れると、気づきに限界はなかった。そしてステップ2では、あのような「偶然が重なった」のは運がよかったということではなく、まさにわたしの人生に神が存在するということなのだとわかり、それがわたしの自己評価にもものすごい影響を与えた。神がいてくれるおかげで、わたしに与えられた運命は人間のクズとして裏通りで死ぬことではないと信じるのができた。わたしには生きる目的がある。それは、クリーンでいる期間が長くなればなるほどはっきりしてくるのだ。

5年という年月がつかの間のうちに過ぎていった。わたしは、自分でできると思ったことは必ず実現すると考えるようになっていた。だったら、クスリに溺れたことで失った5人の子どもたちとの面会もかなうかもしれない。いや、むしろ、わたしはつまらない仕事を3つかけもちすることになっていいから、子どもたちのめんどうをみられるように努力するし、そのときには何とかわたしが踏んばれるように神が助けてくれるだろう。そして、今や、わたしは6人の子どもがいる専業主婦だ。(回復の道を歩むなかで、6人

目を授かった)。なんと、郊外に住んでミニバンを運転している。素晴らしい男性と結婚しただけでなく、(そんな男性と出会えるわけがないと思っていたのに)、子どもたちがいてくれるのもつくづくありがたいし、その子どもたちにも大好きな父親ができたのだ。

わたしはこれまで、自分にもつたいないと思えるほどのものをいただいてきた。アディクションという怒濤のような悪夢の日々を生きただと、おとぎ話の世界にたどりついたのだ。神は毎日よくしてくださる。これまでのことを振り返れば、神が他の人たちを通してわたしにしてくれたことがわかる。シェルターにいたホームレスの少年との出会いもそうだ。今のわたしは、そんな暗示的なやり方でわたしの人生に触れた人々のために祈っている。

わたしはアディクションが子どもたちに及ぼす長期的な影響を無視できないし、子どもたちはわたし以上に苦しんだのだと思うときもある。感謝の気持ちより罪悪感の方が強くなるときには、あのホームレスの少年に思いをはせる。息子が卒業記念のダンスパーティーに出席するためにリムジンに乗り込むのを眺めていて、あの少年はどうしているだろうかと思った。下の息子が学校で表彰され、壇上でわたしへの感謝を述べたとき、子どもたちが自分の元に戻ってきたことを本当にありがたいと思った。娘がわたしにクッキーを焼いてくれるとき、これからはずっとサプライズがあるのだとわかる。7つになる娘からクリスマスカードを受け取るのも、そのひとつ。回復の道を歩むなかで、わたしがいただいた贈り物は数えあげたらきりが無い。

そういえば、だれかがこんなことを言っていた。「生きているのが奇跡だとわかっただけじゃ、奇跡を『生きる』ことにはならないんだ」と。わたしにとって奇跡を生きるとは、アディクションの荒波をみごとに乗り切り、NAでいただいた回復という最高の贈り物を仲間たちとわかちあうことを意味するのだ。

エイプリル・P (アメリカ合衆国/ペンシルバニア)

## 言葉にしなくても 伝わること

2012年の9月には、キューバのNAのために第3回ラテンアメリカゾーナルフォーラム(LAZF)が開催され、ボクはそこで『なぜ、どのように効果があるのか』を一冊いただいた。ベネズエラのNAで25年以上もクリーンで生きてきたメンバーからの贈りものだ。このメンバーは重い病気を患っていて、もう長くはないだろうということだった。それで、LAZFの開会式で進行役を務めるメンバーにこの本をあげてほしいと、ベネズエラの信頼されるしもべのひとりに頼んだらしい。そして、ボクが当日にサービスに関わっていたというわけだ。まったく、神とNAのやり方にはほれほれする。このような本をいただけるなんて、本当にうれしかった。ボクはその本を持っていなかったし、買えるのはずっと先のことだったろう。べつにNA文献はそれほど高いものじゃないけど、キューバで僕たちが直面してる経済状況を考えるとね。その後、ボクは本を贈ってくれたベネズエラのメンバーに手紙を送ることにした。このような言葉に優るメッセージをいただいたことへのお礼と、それがどれほど雄弁なメッセージになってボクに恵みをもたらしたかということも伝えたかったのだ。ボクはまもなく1年のクリーンタイムを祝うことになるだろうし、NAにつながってよかったと思ってる。まったく、NAにつながっていなかったらどうなっていたことか。こうしてキューバにNAがあったからこそ、最高の仲間たちはもちろん、結婚相手も、仕事も、何もかも見つかった。命拾いをしたんだから、感謝してもしきれないよ。

ダリアン \* (キューバ/ハバナ)

Click here for additional  
electronic content.

\* ここに記載した名前は、本人の身の安全を確保するために仮名にしてあります。



# アディクトに 共通する福利

まずはじめに、世界中の仲間たちがそれぞれの人生でプログラムを実行していることに対して、そして労を惜みずその経験を誌面で読めるようにしてくれたことに対して、NA Way マガジンを通してお礼を言いたい。このように世界中の仲間が経験をわかちあうことでもたらされる結論やNAの全体像は、ひとつのグループやひとりのメンバーが理解するには何年も、または何十年もかかるものだ。もし、こうしたわかちあいやNAの文献がなかったら、ここで伝える悲惨な過ちを何度も繰り返しかねないだろう。実際、NAの文献にはグループに生じる問題に対処する際の情報が満載されていた。私たちのホームグループは『12の伝統』から外れてしまったために、トラブルに陥るはめになったのだ。そして、もう一度『12の伝統』をよく理解して生かすことでNAのグループとしてしっかり活動していくようになるために、私たちは高い代償を払った。

1990年の12月に、私ともうひとりの仲間は2人でNAのミーティングをするようになり、ホームグループをつけた。1つのごとを除けば、私たちのグループは長い年月にわたってしっかり活動していた。その間には何度も、出席者が増えたり減ったりした。そして、7年ぐらい前に、グループを創設したもうひとりの仲間が、ホームのオープンミーティングに婚約者（本人の考えによればアディクトではない）を連れてくるようになった。もともと、私たちのグループではアディクトではない人もミーティングで話せるようになっていたこともあり、この婚約者は参加するたびに「わかちあい」ようになった。だが、その「わかちあい」は、アディクションからの回復に関することでもなければ、アディクションそのものについてでもなかった。たいていの場合が、ミーティングで聞いたことに対する返答や反論だった。これじゃ、ミーティングにならない。だからといって、私たちのなかには古いメンバーの花嫁になる人と対決する勇気のある者はひとりもいなかった。そのまま、この状態が何年も続いた。それなのに私たちはずっと、「こんなことは続かないさ。そのうちきっと、この女は俺たちを指導することに飽きるだろう」と考えていたのだ。私たちは間違っていた。

そして、建物が閉鎖されるため、ミーティングの会場を別に探さなければならぬ日が来た。婚約者を連れてきた創設メンバーは、自分が所有する建物にある部屋でやろうと言い出した（そこは、私たちのグループが最初にミーティングを開いた部屋でもあった）。グループ発祥の地に戻るのだと言われれば心も動くし、タバコが吸えるのも何だか得な気がする。せっかくなので申し出だし、それを無にするのは気が引ける。ということで、私たちはかつてのミーティング会場に移った。

その建物は、2～3ヵ月もしないうちに

例の婚約者による管理の下で中間施設になった。この女の支配は家庭の切り盛りにとどまらず、私たちのミーティングを開始前から終了後まで仕切ることに及んだ。しかも、私たちのミーティングはこの中間施設の入所者たちであふれんばかりだった。みんな、この女にならってやって来たのだ。だれもアディクトであると名乗らず、話すこともNAの回復とは関係ないことばかりだった。そして、この女はグループ創設メンバーの婚約者で、建物の家主でもあるが、やはりアディクトではない。それが「わたしは \_\_\_\_\_」よ。アディクトではないけど、このグループの一員だと思ってるわ。それで、わたしはこう思うの・・・」と自己紹介してから、いつもの通り、ミーティングでわかちあわれた話への反論になる。しかも、この女は、グループの良心をはかるビジネスミーティングにも出席するようになり、自分もビジネスで投票できると決めてしまった。私たちの恐れていたおりの展開だった。

私たちは居ても立ってもいらなくなって、ビジネスミーティングを開いた。長く話し合うまでもなく、グループは満場一致で決定を下し、ミーティングではアディクトではない人がわかちあうのを認めないことになった。このあと、私たちが『12の伝統』を説明しようとするなか、怒号が飛び交う議論が延々と続いた。グループの決定に納得できない少数派は、なんとしても私たちに説得しようとかバカのひとつ覚えのように「メンバーであるかないかは、自分で決めればよい」というスローガンを引き合いに出し、『伝統3』によってアディクトでなくてもメンバーになれることが保証されていると言い張るのだった。

わたしたちは『ベーシックテキスト』と『なぜ、どのように効果があるのか』をよく読んでから、もう一度集まってそこに書かれていることについて話し合った。指針を示してもらうために、NAのワールドボードに電話をした。他のいくつかのグループのメンバーたちとも話をし、また集まった。各自でスポンサーに相談し、『グループブックレット』を読んで、再度集まった。NAWS（NAワールドサービス）にも何度か手紙を書いたところ、他のグループの経験と文献への言及が書かれた返事が届き、そのたびにみんなで集まった。結局、グループは自分たちの決定をくつがえすことはなく、「ここにお集まりいただいた人のなかで、今日クソリを使ってしまったという人や、自分はアディクトでないという人は、ミーティングでのわかちあいをご遠慮ください。話したいことがある場合には、ミーティングが終わってからお聞きいたします」として、ミーティングを運営していくことになった。

古くからの仲間がグループの創設者でもあるメンバーは、NAとまったく縁を切ってしまったが、あとになってまた戻ってきた。それは、私たちが闘うべくグループの良心ミーティング（ビジネスミーティング）に毎回出席するつもりだと知らせるためだった。そして、必ずや、これでもかというぐらいわたしたちを惨めな思いにさせてやるからなと言った。あるとき、このようなふるまいに対してグループのメンバーがいらだてて声をあげると、今度はそのメンバーに暴言を浴びせ

たり、暴力をふるいかねないそぶりを見せる始末だった。しかも、私たちはミーティングでも、悪口、放言、中傷など聞くに堪えない「わかちあい」に立ち向かわなければならなかった。私たちの街では、建物の所有者をその建物で行われているイベントやミーティングから閉め出すことはできないため、私たちの方から立ち退いたのだ。

だが、ことはそれだけでは済まなかった。グループの一体性をおびやかした論争や意地の張り合いや毒舌によって、グループへの参加者が激減してしまったのだ。新しいメンバーも古いメンバーも、ミーティングに出席しなくなった。つながったばかりのメンバーのなかには、また使うようになってしまった者もいた。1年ぐらいの間は出席者がとても少なく、およそ90,000人の町で私たちのミーティングに出席するのは毎回わずか3人から7人だった。

私たちは自分たちの経験したことが、どこかのNAグループに役に立つことになったり、ホームグループの回復の雰囲気について気をもんでいるアディクトを安心させることになればと願っている。ナルコティクス アノニマスのミーティングにアディクトではない人々が参加することについて、疑問や強い感情を抱いているメンバーたちはひとり残らず、ぜひ、NAの文献を全部読んでいただきたい。私たちと同じ道をたどっていると気づいたとしても、私たちよりも早く行動すれば耐えがたいトラブルを避けられるとわかるだろう。私たちは『NAの伝統』に従うことに関していいかげんでビクビクしていた。波風を立てないことが忍耐、寛容、一体性であると思っていたにちがいない。

私たちのオープンミーティングには今でもアディクトではない人々を歓迎しているが、それでも、NAミーティングであるからにはアディクトの、アディクトによる、アディクトのための集まりだ。アディクトであれば、メンバーになるかどうかは自分で決めればよい。私たちは、メンバーになったばかりの仲間の頭に『12の伝統』をたたき込むことはしないが、NAでは『伝統』は譲れないもので妥協も取りえないことははっきりさせている。私たちのなかでも、グループの良心や『伝統』やNA文献を支持するメンバーたちは人気がなかったりする。むしろ、支持していることで煙たがられたりもする。だが、私たちはクリーンで生き続けたいし、NAグループがあるし、もうこのような問題によって混乱することもない。私たちは自分たちがひどい目にあったことで、アディクトに共通の福利は優先されなければならないことを学んだ。NAの仲間たちの愛、励まし、協力、理解、なぐさめ、何から何までが本当にありがたいと思う。私たちのグループに現在とどまっているメンバーたちは、次のようなことを信じている。12のステップに取り組まないアディクトはふたたび使うことになるのと同じように、12の伝統から大きく外れてしまったグループはダメになってしまうか、さもなければ一からやり直すことになってしまうのだ。

プライアン・H（アメリカ合衆国/テキサス）

# NA の復活

ぼくは、ラテンアメリカゾーナルフォーラム (LAZF) と NA ワールドサービス (NAWS) によるフェローシップディベロップメントの旅でタチに向かうことになった。このような取り組みにかかわれるなんて、願ってもないことだ。この旅では、医療の専門家たちに NA に関する情報を伝えることができた。これからは医療を受けているアディクトたちが NA につながりやすくなるだろう。そしてさらに、回復を求めているアディクトたちにも直接 NA のメッセージを運んだところ、その場でこのアディクトたちによる NA グループが誕生することとなり、1 回目のミーティングを開く手助けもできたのだ。

2012 年 12 月 11 日 (火)

この日の午後、ぼくたちはタチの首都であるポルトープランスに到着した。空港には、地元 NA グループのメンバーが出迎えてくれた。タチの NA が一歩踏みだす力になりたいという思いは同じなのだ。夕食の後、エドアルド・S とぼくとで翌日に行く説明発表のおさらいをした。

12 月 12 日 (水)

医療センターをはじめ、さまざまな医療機関のセラピストや医師に対して、NA に関する説明会を開いた。約 15 名の参加者からは多くの質問があり、自分たちの患者や利用者が NA で得られるものに関心をもっていた。そして、医療センターでは NA の 12 ステップによるミーティングが何度か開かれているものの、幅広い支援を受けられないという現状が語られた。

12 月 13 日 (木)

この日は、医療センターの患者たちに対する説明会を開くことから始めた。参加者 11 名のうち、女性 2 名があとになって自分はアディクトだと認めた。説明会の終わりに、NA のグループをつくってみたいと思えるだろうかと問いかけた。すると参加者たちは、つくってみたいので、どうせなら今この場で 1 回目のミーティングを開いてもらえないだろうかと言った。こんなうれしい頼みを断るわけがない。

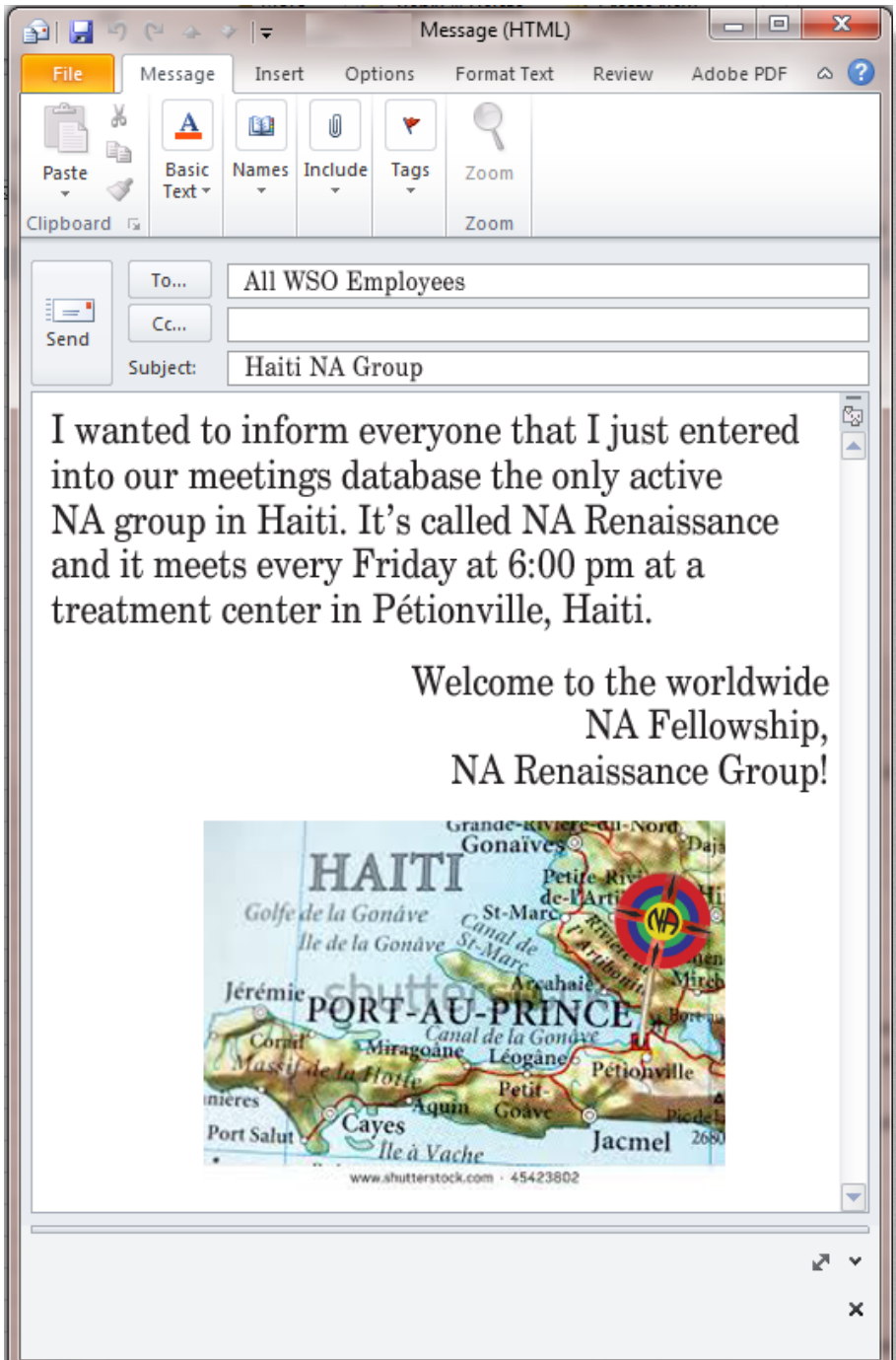
ぼくたちはまず、短いビジネスミーティングを開き、ミーティングの形式と日程を決めるために話し合った。このグループの名前は、翌日、地元ホームグループのあるメンバーたちで決めることにした。そして偶然にも、この場に長いあいだ回復の道を歩んだことのある男性がいた。ミーティングがなかったために、リラプスしてしまったのだ。この男性はポルトープランスの郊外に住んでいて、NA プログラムにとっても共感できるし、自分の住んでいる地域でもうひとつ NA グループをつくることにしてもいいと言った。ビジネスによる話し合いがすむと、ミーティングはわかちあいの時間になった。このミーティングは 2 時 30 分に終了したが、参加者たちは翌日にもう一度ミーティングを開くことにした。

12 月 14 日 (金)

この日の朝、ぼくたちはタチを後にして帰国の途についた。そしてその夜には、ハイチのメンバーのひとりからみんなでもう一度集まったことを知らせるメールが届いた。このグループは「NA ルネッサンス (NA の復活) グループ」という名前で、毎週金曜の 6 時～7 時 45 分にミーティングを開くことになったということだ。こうしてサービスに関わらせてもらえることを、つくづくありがたいと思う。

ホセ・ルイス・A (プエルトリコ/サンファン)

LAZF グロース アンド デベロップメント ワークグループ







# Narcotics Anonymous

WORLD SERVICES



みなさんは、自分だけで回復の道を歩みたいでしょうか？ NA ワールドサービス（NAWS）ではめまぐるしく変化するインターネットの世界に後れを取らまいと、日々手をつくしています。技術面でのインフラ整備が追いつかず、資源も限られているなかで、NAWSのITチームは私たちがインターネットの世界にしっかり踏みとどまれるように奮闘を続けているのです。下記の各メインページをクリックすれば、その成果がわかるでしょう。このようなインターネットによる手段は確かにどれも便利なものですが、それ以上に重要なのは、利用するメンバーが増えることでさらに多くのアディクトたちにNAの回復のメッセージが運ばれていくということです。それによって、わたしたちの第一の目的と私たちの未来像を実現することができ、いつの日か・・・

[世界中のアディクトがみな、自分の話す言葉でわかりやすく書かれた  
NAのメッセージを目にする機会に恵まれ、それが新しい生き方に踏みだすきっかけになる。](#)

- [www.na.org](http://www.na.org)
- [Eメールによる案内配信サービス](#)
- [回復とサービスに関する資料](#)
- [出版物](#)
- [電子書籍化されたNA文献](#)
- [携帯によるウェブサイト](#)

# サービスシステムに関する最新情報

## これまでの経過

このサービスシステムプロジェクトは、2008年にWSC（ワールドサービスカンファレンス）の承認を得て誕生した。それから「NAのサービスにたくす未来」という理念ができあがり、2012年には8つの改革案がWSCを通過した。ここまでの歩みについてさらに詳しく知るには、『NAWS（NAワールドサービス）ニュース』最新号をご覧ください。

## 現在の進展状況

私たちは、このサービスシステム改革案にある地域サービスのさまざまなアイデアについて実地テストを続けており、これまでに説明発表や、ワークショップに関する資料、地元のNAで利用する道具をはじめとして、さまざまな手段をウェブサイトに掲載してきた。

## 今後の展開

2013年7月には、主要地域での実地テストが終了する。この時点で、私たちは実地テストに関する報告を行うことになっているが、こうして集められた情報によってカンファレンスアジェンダレポートとカンファレンスアブルーバルトラック（ワールドサービスカンファレンスの議題についてのレポートと会議で承認されたことの記録）は充実した内容になるだろう。

プロジェクトに関する詳細や資料は、以下のサイトをご覧ください

[www.na.org/servicesystem](http://www.na.org/servicesystem)

## ウェビナー

### （インターネット上で開催されるセミナー）

このようなサービスを提供できる見通しが立ったことで、私たちはワクワクしている。これで信頼されるしもべたちが、世界各地のNAで同じようにサービスに尽くしているメンバーたちとインターネットでつながるのだ。

私たちは現在、塀の向こう側へのスポンサーシップの一環として、いくつかのステップ ライティング コミティのメンバーたちと一緒にNAのさまざまなウェビナーを開いている。このようなウェビナーは、情報を交換して共通の問題を解決するために話し合う場になっているのだ。これからも、ステップ ライティング コミティのメンバーたちが続々と参加申し込みをしていただくとありがたい。

このほか、2月22日にはNAWS（NAワールドサービス）によって広報活動に関するウェブ会議が開かれた。そして3月27日には、H&I（病院施設）の活動に関わるメンバーたちによる初めてのウェブ会議が開かれた。私たちは、これからもさまざまなウェブ会議を開いていく予定であり、みなさんの参加をお待ちしている。近い将来には、コンベンションに関するウェブ会議も開かれるだろう。参加申し込みをしてくれるメンバーたちがいることで、会議を開くはりあいがあるのだ。PR（広報）、H&I（病院施設）、コンベンションなどの活動に関わる信頼されるしもべたちには、こぞって参加申し込みをしていただくようお願いする。ぜひとも、ウェブ会議という場で経験と希望をわちあてていただきたい。そうやって私たちが力を合わせれば、共通する問題への解決策が見出せるのだ。

みなさんのお名前、連絡先（Eメールアドレス）、信頼されるしもべの役割、リージョン名のほか、ウェブ会議で話し合っほしいと考えていることなどを、以下のアドレスに送っていただきたい。

コンベンションに関すること [events@na.org](mailto:events@na.org)

H&I（病院施設）に関すること [handi@na.org](mailto:handi@na.org)

PR/PI（広報）に関すること [pr@na.org](mailto:pr@na.org)

NAのサービスシステムプロジェクトについては、最新情報とともにさまざまな検討手段が提供されている。関心のあるメンバーたちはこまめに確認していただきたい。

## 『伝統』に関する書籍のプロジェクト

『伝統』に関する書籍のプロジェクトについては第一段階が順調に進んでおり、このような活用しがいのある書籍が誕生するということで並々ならぬ熱意がみられる。各地のNAでも、意見提供のために自由に意見を出し合うワークショップが開催されたか、あるいはこれから開催されることになっているところが少なくない。このようなワークショップのセッションプロファイルは [www.na.org/traditions](http://www.na.org/traditions) で入手可能になっているので、このプロジェクトに参加したいと思うメンバーたちはぜひ利用していただきたい。これまでのところ、こちらには意見提供以外にも企画書や文案などの原資料が寄せられている。みなさんもこのような資料をお持ちならぜひ提出を考えていただきたい。

私たちはインターネット上にプロジェクトに関する掲示板を設けることで考えがまとまりつつあり、2年という期間でプロジェクトを進めていくなかで、提供された意見をさらに絞り込むためにさまざまな可能性を検討している。手はずが整えば、この掲示板はプロジェクトのウェブページ [www.na.org/traditions](http://www.na.org/traditions) からリンクして利用できるようになる。また、追加のワークショップ関連資料などもこのウェブページに掲載するとともに、Eメールによるお知らせの配信も行っていく。「NAWS 最新情報」のメール配信を申し込むには、[www.na.org/subscribe](http://www.na.org/subscribe) をご覧ください。これまで協力いただいていたみなさんには、心からお礼を申し上げます。プ

## アン・イントロダクション・トゥ・NA ミーティング

このサービスパンフレットに対する見直しと意見提供の期間は、2013年4月30日をもって終了した。意見を提供してくれたみなさんには、心から感謝している。みなさんからフィードバックをいただいたおかげで草案はこれ以上ないというほど素晴らしいものとなり、WSC（ワールドサービスカンファレンス）での承認はまちがいないだろう。この草案は、付録（追加報告書）として2014年カンファレンスアジェンダレポートに盛り込まれることになる。



# 第 35 回 NA ワールドコンベンション

## 「ザ・ジャーニー・ コンティニューズ」

NA の 60 周年を祝い、記念すべきイベントにしよう！

私たちは回復の旅の途中ではじめて、フィラデルフィアに集合することになる。フィラデルフィアは「兄弟愛の街」だ。大都会であるのは、今さら言うまでもない。今回は大都会で開催するワールドコンベンションということで、私たちにとって特別でまたとないものになるでしょう。このような記念すべきイベントに、みなさんもぜひ参加していただきたい。NA ではどんなアディクトでも回復できるとわかるし、そのきずなの強さがどれほど素晴らしい者かを体験できるでしょう。

### プレ・レジストレーションが可能な人数

早期登録割引の受付はすでに終了したが、7月31日までは89ドルで事前登録を受けつけている。これ以降は、現地にて99ドルの参加登録となる。WCNA 35（第35回NAワールドコンベンション）は事前登録が必要なイベントであることをお忘れなく！みなさんが早めに登録をしてくれることで、このイベントは資金不足で計画倒れに終わるということにならずにすむのだ。

### オリジナル・グッズの申し込み

オリジナルグッズのなかには、すでに申し込みできる数量やサイズが限られているものもある。詳しくは、[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna) で確認してください。

### エンターテイメント

バンケットとNA60周年祝賀会 — 8月31日（土）土曜の夜に開かれるバンケットのチケットはまだ入手可能だが、座席数には限りがある。世界中の仲間とNA60周年を祝うためには、チケットを早めに購入して座席を確保するようにしてください。

メイン・コンサート — スティックス — 8月31日（土）スティックスは、1970年代初期にシカゴ郊外の地下室で誕生し、70年代の終わりから80年代の始めにかけてアリーナコンサートを行うロックバンドの元祖となった。そして今も変わらず、元気に活動している。

コメディ・ショー — ガブリエル・イグレシアス — 8月30日（金）コメディ界のスーパースターであるガブリエル・イグレシアスは「俺はデブじゃない・・・ふっくらしてるんだ！」と胸を張り、世界中で観衆を大いに沸かせている。コメディ・セントラルの「ガブリエル・イグレシアスによるスタンダップ革命」でプロデュースと司会を務めているほか、「ザ・トゥナイト・ショー」、「コナン」、「ジミー・キンメル・ライブ」、映画の「マジック・マイク」でも活躍している。

ブルース・ランチ — ロイヤル・サザン・ブラザー・フード（RSB） — 8月29日（木）シリアル・ネヴィルとデボン・オールマンが率いるRSBは、ネヴィル・ブラザーズとオールマン・ブラザーズによるサザン・ブルースの流れをくみ、アメリカ音楽の王道をしっかりと歩み続けている。

ジャズ・ブレイクファースト — ボニー・ジェームス — 8月30日（金）ボニー・ジェームスはビルボード・チャート1位のサキソフォン奏者で、グラミー賞の候補にも挙げられている。ソウルフルで哀愁たただよ名演奏にじっくり浸ってください。

エンターテイメントに関する詳しい情報やビデオ映像は、以下のサイトで閲覧可能になっている。

[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna)

### サービスに関わる — ボランティア募集

NAの回復を祝いイベントを成功させるために、一役買おうという気持ちはないだろうか。WCNAでは、エンターテイメントやさまざまなイベント、オリジナル・グッズの販売、プログラム進行、登録手続きをはじめ、やるべきことがたくさんあるので、手を貸してくれるボランティアを募る予定だ。詳しいことは、[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna) にあるボランティア申し込みのリンクをクリックしてください。

### 旅のプラン

ホテルの予約状況 — 私たちのウェブサイトには常時、空き室が追加掲載されているので、こまめにチェックするようにお願いします。部屋の予約とホテルに関する詳しい情報については、以下のカンファレンス・ディレクト・ウェブサイトをご覧ください。

[https://resweb.passkey.com/Resweb.do?mode=welcome\\_gi\\_new&groupID=17026444](https://resweb.passkey.com/Resweb.do?mode=welcome_gi_new&groupID=17026444)

観光ツアー — ワールドコンベンションの前には旅行を計画するメンバーが多いので、私たちはフィラデルフィアとその周辺で楽しめる観光ツアーをとりそろえている。プレ・コンベンション・クルーズもそのひとつだ。このほかにも、アーミッシュの居住地周辺、リパティ・ベル（自由の鐘）、歴史名所、ロングウッド・ガーデンズと、まわるころはいろいろある。そして、フリーの幽霊探検ツアーやクルーズでの川めぐりに行くか、地元でのショッピングを極めるか、あるいはニューヨーク・シティまで日帰り足を伸ばすのもよい。詳しいことは、[www.phillytour.com/local-sightseeing-tours/p48](http://www.phillytour.com/local-sightseeing-tours/p48) をご覧ください。

送迎バス — コンベンションでの送迎バス利用については、ジョニー・ランブリー（[johnny@na.org](mailto:johnny@na.org)）が受けつけ窓口になっています。自分の連絡先と送迎を希望する時間と場所を伝え、各自で申し込みをしてください。なお、コンベンション・センターへの送迎には、こちらでバス許可証を手配することになるでしょう。このほかにも送迎バスに関する詳しい情報は、以下のサイトをご覧ください。

[www.discoverphl.com/travel-trade/transportation-and-bus-parking/](http://www.discoverphl.com/travel-trade/transportation-and-bus-parking/)

その他の役立つリンク

スクーターのレンタル

[www.scootaround.com/rentals/n/na/](http://www.scootaround.com/rentals/n/na/)

割引料金のレンタカー

[www.enterprise.com/car\\_rental/deeplinkmap.do?bid=028&refId=PHILCONV](http://www.enterprise.com/car_rental/deeplinkmap.do?bid=028&refId=PHILCONV)

WCNA 最新情報のEメール配信については

（NAWSに関する最新情報、出版物の購読申し込みについても）、

[www.na.org/subscribe](http://www.na.org/subscribe) をご覧ください。

[www.na.org/wcna](http://www.na.org/wcna)





# フィラデルフィアから生中継！ ワールド ユニティ デイ

2013年9月1日 ー 午前 11 時 30 分 (アメリカ東部夏時間)

NA のワールド ユニティ デイは、メンバー、グループ、エリア、リージョンがそれぞれに参加して祝うイベントだ。今年、WCNA 35 を締めくくる土曜朝のミーティングと 2 時間にわたって電話がつながる。アメリカ東部夏時間で午前 11 時 30 分にフィラデルフィアから世界中に電話で呼びかけていき、NA 全体が心をひとつにするのだ。(www.timezoneconverter.com で、自国の現地時間を確認しておこう)

通話料は、アメリカおよびカナダ国内で 50 ドル。下にある登録用紙に記入をすませたら、NA ワールドサービスまでファクスまたは郵送していただきたい。この際には、小切手や郵便為替 (注：日本国内用のものは使用できません) で参加料金を同封するか、あるいはクレジットカード情報を併記するように願います。郵送の宛先は WCNA 35 Unity Day、PO Box 9999、Van Nuys, CA 91409、ファクスの電話番号は 818.700.0700、期日は 2013 年 8 月 1 日までとする。

アメリカおよびカナダ以外の国や地域にかける場合には、無料接続回線を 1 回線だけ利用できるようになっている。ただし、このフリー・リージョナル・リンクを利用するにはそれぞれの国や地域のリージョンによる承認を必要とし、各リージョンに 1 回線ずつに限られることをお忘れなく。

以下に、自分の連絡先を記入してください。

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

Eメールアドレス \_\_\_\_\_

所属リージョン/エリア/グループ \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

City/State \_\_\_\_\_ 国名 \_\_\_\_\_ 〒番号 \_\_\_\_\_

どのような呼びかけにするか \_\_\_\_\_ 呼びかけに応じてくれそうな相手の名前 \_\_\_\_\_

アメリカおよびカナダ以外の地域で、呼びかけの日に使用する電話番号 \_\_\_\_\_

アメリカおよびカナダ以外の地域で、呼びかけの日に使用する電話番号  AMEX  VISA  M/C  Discover  Diners Club

クレジットカードの 名義人氏名 \_\_\_\_\_

クレジットカードの番号 \_\_\_\_\_ 有効期限 \_\_\_\_\_ 認証番号 \_\_\_\_\_

サイン (署名) \_\_\_\_\_

こちらに登録用紙が届いた時点で、確認の通知と当日の呼びかけに関する情報を送らせていただく。

何か質問があれば、ジョニーへ 電話 (818.700.0700 内線 149) か、Eメール (johnny@na.org) をいただきたい。

**登録用紙と参加料金は、2011年8月1日までに必着のこと**





私たちは、自分や世界中の仲間の生き方が変わっているのがわかる。といっても、それは単に、NAにつながったときのようなどうしようもなく孤独なアディクトではなくなったということだけではない。12のステップを実践するにしても、初

めて取り組んだときと、2回目や3回目のときとは、自分自身も自分と仲間たちとのかかわり方もいろんな面で大きく変わっているのがわかる。NAのサービスに関わることで、私たちはさまざまな環境でストレスを受けたりしながらも人とつきあい、たとえ自分の考えは譲れないとしても思いやりと広い心をもつことができるようになる。なんだかんだいっても最後には愛の神におまかせすればいいのだから、とにかく原理に従っておこうとか、ここは一体性を重んじて引き下るにこしたことはないとか判断できるようになるのだ。私たちは今日だけどう生きるかを考え、この先どうなるのか気になってしかたがなくても、あえてそのことは考えないようにする。今日という日を大事に生きて、失敗にめげず、うまくいったことを喜ぶ。そうやっていさぎよく誠実に満ちたりて生きることができるのも、私たちの人生に与えられた回復の道具のおかげなのだ。こうして原理を実行しているうちに、私たちの理解は深まっていく。

『リビングクリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』

第1章「リビングクリーン（クリーンで生きる）」

*Living Clean: The Journey Continues*,  
Chapter One, "Living Clean"

# ◆◆◆◆◆ カレンダー

ここでは、NA のホームページにあるイベントスケジュールをもとに数日にわたるイベントとその開催日程をのせてあります。参加申し込みや問い合わせについては、ホームページのスケジュールカレンダー [www.na.org/events](http://www.na.org/events) をご覧ください。(インターネットを利用していない場合には、ファクスまたは郵送で参加希望のイベントについてお問い合わせください。FAX: : 818.700.0700 郵送 : 「NA Way」または「The NA Way」宛、Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

**ブラジル**  
イラドゥバ 5月30日～6月2日「第2回 アマゾン エリアコンベンション」(会場) ボサダ・アマゾニア (場所) イラドゥバ (問い合わせ) [irandubaadicto@yahoo.com.br](mailto:irandubaadicto@yahoo.com.br)

**カナダ**  
アルバータ 5月31日～6月2日「第28回 エドモントン エリアコンベンション」(会場) キルケニー・コミュニティ・リーグ・ホール (場所) エドモントン (問い合わせ) [www.eana.ca/index.php/convention](http://www.eana.ca/index.php/convention)  
オンタリオ 5月17日～19日「第26回 オンタリオ リージョナルコンベンション」(会場) ブルーマウンテン・リゾート (場所) ブルーマウンテンズ (問い合わせ) [www.orcna.ca](http://www.orcna.ca)

**デンマーク**  
フレデリックスベル 5月17日～19日「第20回 コペンハーゲン エリアコンベンション」(会場) ソーハス・フランク・スクール (場所) フレデリックスベル (問い合わせ) [www.nakbh.dk](http://www.nakbh.dk)

**エクアドル**  
ロハ 5月24日～26日「第15回 エクアドル リージョナルコンベンション」(会場) セント・デ・コンベンシオネ・プンサラ・レアル (場所) ロハ (問い合わせ) [www.naecuador.org](http://www.naecuador.org)

**ドイツ**  
ベルリン 5月3日～5日「ジャーマンスピーキング リージョン/ベルリン エリア インターナショナルコンベンション」(会場) ベルリーナ・スタットミッション (場所) ベルリン (問い合わせ) [www.binac.de](http://www.binac.de)

**インド**  
ヒマーチャル プラデッシュ 6月6日～8日「第1回 パンジャブ エリアコンベンション」(会場) ホテル・ロイヤルパレス (場所) マクローガンジ (問い合わせ) Tel. 91.9876281649

**メキシコ**  
モンテレイ 6月14日～16日「第8回 ルステ エリアコンベンション」(会場) フィエスタ・イン・モンテレイ・セントロ (場所) モンテレイ・ヌエボレオン (問い合わせ) [www.canna8.com](http://www.canna8.com)

**タンザニア**  
ダルエスサラーム 5月21日～23日「第1回 イーストアフリカ リージョナルコンベンション」(会場) キベベオ・ビラージ・パームビーチ・ホテル Ltd. (場所) ダルエスサラーム (問い合わせ) [www.ea-na.com](http://www.ea-na.com)

**英国**  
スコットランド 5月25日～26日「スコットランド - イーストコーストエリア オーバータイム、ノット オーバーナイト (あせらずに、じっくりやろう)」(会場) クイーンストリート・チャーチ (場所) スコットランド (問い合わせ) [cosmicringo@yahoo.com](mailto:cosmicringo@yahoo.com)

**アメリカ合衆国**  
アリゾナ 6月14日～16日「第27回 アリゾナ リージョナルコンベンション」(会場) アリゾナ・スターバス・リゾート&スパ (場所) トゥーソン (問い合わせ) [www.arizona-na.org/arcna](http://www.arizona-na.org/arcna)

カリフォルニア 6月7日～9日「916 ノースエリア ユニティデイ/キャンプアウト」(会場) ローファー・クリーク・レクリエーションエリア (場所) オーロビル (問い合わせ) [www.916northna.org](http://www.916northna.org)

2) 6月14日～16日「セントラルコーストエリア セレニティ アンダー ザ スターズ (星空の下で心静かに過ごす) キャンプアウト」(会場) レイク・サン・アントニオ、ノースショア (場所) ブラッドリー (問い合わせ) [www.serenityunderthestars.net](http://www.serenityunderthestars.net)

コネチカット 5月10日～12日「第9回 ストレート フロム ザ ヒップ グループ ウィメンズ スポンサーシップ リトリート [女性限定]」(会場) インカーネーション・リトリートセンター (場所) アイボリートン (問い合わせ) Straight From the Hip Group; 164 Hanover Street; Meriden CT 06450

フロリダ 5月3日～5日「第14回 デイトナ エリアコンベンション」(会場) プラザ・リゾート&スパ (場所) デイトナ・ビーチ (問い合わせ) [www.daytonana.org](http://www.daytonana.org)

ジョージア 5月2日～5日「第5回 アリトル ガール グロウズ アップ (少女が大人になる) コンベンション [女性限定]」(会場) ヒルトン・アトランタ・エアポート (場所) アトランタ (問い合わせ) [www.alittlegirlgrowsup.net](http://www.alittlegirlgrowsup.net)

2) 6月7日～9日「第25回 セントラルサバンナ リバー エリア コンベンション」(会場) マリオット・ホテル&スパ (場所) オーガスタ (問い合わせ) Tel. 706.825.4876

イリノイ 5月24日～27日「第27回 プライマリー パーパス エリア リバー ラン」(会場) フォレス・グレン・ブリザード (場所) ウェストビル (問い合わせ) [www.ppana.org/events](http://www.ppana.org/events)

ルイジアナ 5月24日～26日「第31回 ルイジアナ リージョナルコンベンション」

(会場) ベスト・ウェスタン・ランドマーク (場所) メタリー (問い合わせ) [www.larna.org](http://www.larna.org)

メリーランド 6月14日～16日「第17回 イーストコースト コンベンション」(会場) ワシントン・カレッジ (場所) チェスタータウン (問い合わせ) [www.eccna.org](http://www.eccna.org)

ミシシッピ 5月3日～5日「第4回 フォグリフターズ グループ フェローシップ アンダー ザ スターズ (星空の下で仲間たちと過ごす) キャンプアウト」(会場) ルーズベルト・ステートパーク (場所) モートン (問い合わせ) [www.mrscna.net](http://www.mrscna.net)

モンタナ 6月14日～16日「第25回 モンタナ ギャザリング」(会場) サイムス・ホットスプリングス・ホテル (場所) ホットスプリングス (問い合わせ) [www.namontana.org](http://www.namontana.org)

ネブラスカ 5月25日～27日「第33回 ネブラスカリージョン ラン フォー ファン (気楽に走ろう)」(会場) ステート・レクリエーション・エリア (場所) アレキサンドリア レイクス (問い合わせ) [www.nebraskana.org](http://www.nebraskana.org)

2) 6月14日～16日「第23回 カーニーグループス ミッド・サマー・ナイト (真夏の夜の) キャンプアウト」(会場) サンディチャネルズ・キャンプ・グラウンド (場所) エルムクリーク (問い合わせ) [www.nebraskana.org](http://www.nebraskana.org)

ニュージャージー 5月10日～12日「フロントライン リカバリー グループ ユナイテッド ステイツ サービスカンファレンス」(会場) クラリオン・ホテル&コンベンションセンター (場所) アトランティック・シティー・ウェスト (問い合わせ) Frontline Recovery Group; 423 N Ohio Avenue; Atlantic City, NJ 08401

2) 6月14日～16日「第2回 サバーバン エセックス エリアコンベンション」(会場) ハノーバー・マリオット (場所) ホイッパニー (問い合わせ) [www.nanj.org](http://www.nanj.org)

ニューヨーク 5月17日～19日「第25回 リカバリー イン ザ ウッズ」(会場) キャンプ・パイオニア&リトリートセンター (場所) アンゴラ (問い合わせ) [www.nawny.org](http://www.nawny.org)

2) 5月24日～26日「第9回 ハート オブ ニューヨーク エリアコンベンション」(会場) ホリデイ・イン・コンベンションセンター (場所) リバプール (問い合わせ) [www.honyana.org/na\\_events.htm](http://www.honyana.org/na_events.htm)

3) 5月31日～6月2日「オールパニー レンセリア エリア プロミス オブ フリーダム キャンプアウト」(会場) キャンプ・スカリー (場所) ワイナツカル (問い合わせ) [www.abcdrna.org/campout](http://www.abcdrna.org/campout)

ノースカロライナ 5月17日～19日「第8回 インナーコースタル/ダウンイースト/クロスロード エリアコンベンション」(会場) シティー・ホテル&ビストロ (場所) グリーンビル (問い合わせ) Tel. 919.344.6564

2) 6月7日～9日「第24回 キャピタル エリアコンベンション」(会場) ヒルトン・ノースローリー・ミッドタウン (場所) ローリー (問い合わせ) [www.capitalareancna.com/Convention.html](http://www.capitalareancna.com/Convention.html)

オハイオ 5月4日～5日「第23回 サタデー ヌーン グループ アニバーサリー」(会場) キングアイランド・カンファレンスセンター (場所) メイスン (問い合わせ) Tel. 513.746.8277

2) 5月24日～26日「第31回 オハイオ コンベンション」(会場) クラリオン・ホテル (場所) ハドソン (問い合わせ) [www.nabuckeye.org](http://www.nabuckeye.org)

オクラホマ 5月3日～5日「ネバーアローングループ メンズ スピリチュアル リトリート [男性限定]」(会場) セインツ・グループ (場所) グレンコー (問い合わせ) Tel. 405.343.2289

オレゴン 5月17日～19日「第19回 パシフィック カスケード リージョナルコンベンション」(会場) レッド・ライオン・ホテル (場所) クースベイ (問い合わせ) [www.pcrna.org](http://www.pcrna.org)

テキサス 5月3日～5日「第2回 アブラヒスパーニャ デ テジャス (テキサスのヒスパニック) エリアコンベンション [スペイン語]」(会場) レイク・パレスチナ・リゾート (場所) フランクストン (問い合わせ) [www.natexas.org](http://www.natexas.org)

ユタ 6月7日～9日「第27回 ハイ ユニタ エリア セレブレーション オブ リカバリー」(会場) アメリカン・リージョン・ホール (場所) ヴァーナル (問い合わせ) [www.nautah.org/High\\_Uinta.htm](http://www.nautah.org/High_Uinta.htm)

バーミヤ 5月24日～27日「第18回 マリオン サバイバーズ グループ キャンプアウト」(会場) ハングリー・マザー・ルーザン・リトリートセンター (場所) マリオン (問い合わせ) Marion Survivor's Group; 139 West Main Street; Marion, VA 24354

ワシントン 5月17日～19日「第28回 ワシントン/ノーザンアイダホ リージョナルコンベンション」(会場) グレート・ウルフ・ロッジ・コンベンションセンター/ウォーターパーク (場所) グランド・マウンド (問い合わせ) [www.wnirna.org](http://www.wnirna.org)

ワイオミング 5月17日～19日「第14回 アッパー ロッキーマウンテン リージョナルコンベンション」(会場) プレインズ・ホテル (場所) シャイアン (問い合わせ) [www.wyo-braskana.org](http://www.wyo-braskana.org)

テレフォニック (電話によるイベント) 5月17日～19日「第1回 テレフォニック コンベンション」(電話回線) 合衆国 209.647.1600 [アクセスコード(接続番号) 473468#] (問い合わせ) [www.recoveryonthegona.org](http://www.recoveryonthegona.org)



# NAWS Product Update



## French

*Une ressource  
près de chez-vous*

Item No. FR-1604 Price US \$0.35

*Enquête sur les membres*

Item No. ZPRFR1101 Price US \$0.26



## Hungarian

*Egy függő tapasztalata  
elfogadásról, hitről  
és elköteleződésről*

Item No. HU-3114 Price US \$0.22

*Önellfogadás*

Item No. HU-3119 Price US \$0.22

## German

*It Works: How & Why  
(Softcover)*

*Es funktioniert:  
Wie und Warum*

Item No. GE-1140 Price US \$7.60



## Norwegian

*In Times of Illness*

*Ved sykdom*

Item No. NR-1603 Price US \$2.90



## PR Basics

Item No. GE-2102B Price US \$1.60

*Geld ist wichtig  
Selbsterhalt in NA*

Item No. GE-3124 Price US \$0.48

*NA-Dienste finanzieren*

Item No. GE-3128 Price US \$0.32



*Disruptive & Violent Behavior*

*Störendes und  
gewalttätiges Verhalten*

Item No. GE-2204 Price US \$0.22



*NA Groups & Medication*

*NA-Gruppen und Medikamente*

Item No. GE-2205 Price US \$0.28

*Social Media  
& Our Guiding Principles*

*Soziale Medien  
und unsere Prinzipien*

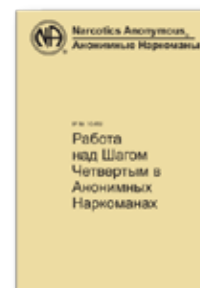
Item No. GE-2207 Price US \$0.28



## Russian

*Работа над Шагом Четвертым  
в Анонимных Наркоманах*

Item No. RU-3110 Price US \$0.70



## Spanish

*Un recurso  
en su comunidad*

Item No. SP-1604 Price US \$0.35



## Swedish

*En resurs i samhället*

Item No. SW-1604 Price US \$0.35



## To Be Discontinued

Available only until limited supplies are sold out

### **Audiotapes**

Basic Text Plus  
6-tape set | Item No. 8800

*It Works: How and Why*  
6-tape set | Item No. 8820

### **Keychain Medallion Holders**

Item No. 6090 & 6091

### **All NA Wallet Cards**

Item No. 9060 through 9063

### **Audio CDs and CD-ROMs**

*Step Working Guides*

Audio CD | Item No. 8830

CD-ROM | Item No. 8911

*It Works: How and Why*

CD-ROM | Item No. 8910

### **25-Pocket Literature Rack**

Item #9056

## Coming Soon



### **Finnish**

*The NA Step Working Guides*

*Nimettömien  
Narkomaanien  
askeltyöskentelyopas*

Item No. FI-1400 Price US \$7.70

### **Norwegian**

Sixth Edition Basic Text

*Anonyme Narkomane*

Item No. NR-1101 Price US \$11.00



Deeply discounted

WCNA Merchandise

**spirit & unity**

is available online!

[www.hicorpinc.com/na](http://www.hicorpinc.com/na)

Clothing, caps, mugs, travel mugs, specialty items like screen/eyeglass cleaning cloths & other WCNA merchandise, too.

Treat yourself or buy a gift for a friend or sponsee/sponsor.

